

平成 2 年12月 招 集

第 4 回 館 山 市 議 会 定 例 会 会 議 録

館 山 市 議 会

目 次

◎第1号（12月14日）

開 会	2
市長の紹介	2
追悼のことば	3
議長の報告	5
議案の配付	6
会議録署名議員の指名	6
会期の決定	6
会議日程の決定	6
議案第41号～議案第46号（市長のあいさつ 並びに提案理由の説明）	7
延 会	11
本日の会議に付した事件	11

◎第2号（12月17日）

開 議	14
行政一般通告質問	14
永井 龍平君の質問、当局の応答	14
鈴木 勝美君の質問、当局の応答	26
神田 守隆君の質問、当局の応答	30
飯田 義男君の質問、当局の応答	52
田沢 勝信君の質問、当局の応答	59
山中金治郎君の質問、当局の応答	73
脇田 安保君の質問、当局の応答	80
会議日程の変更	94
散 会	94
本日の会議に付した事件	94

◎第3号（12月19日）

開 議	9 6
議案第41号	9 6
神田 守隆君の質疑、当局の応答	9 7
委員会付託の省略	9 9
採決	1 0 0
議案第42号～議案第44号	1 0 0
神田 守隆君の質疑、当局の応答	1 0 0
委員会付託	1 0 9
議案第45号、議案第46号	1 0 9
神田 守隆君の質疑、当局の応答	1 0 9
委員会付託	1 1 4
請願第29号～請願第31号	1 1 4
委員会付託	1 1 4
議長の報告	1 1 4
延 会	1 1 5
本日の会議に付した事件	1 1 5

◎第4号（12月25日）

開 議	1 1 9
議案の配付	1 1 9
議案第42号、議案第43号、議案第45号	1 1 9
総務委員会委員長報告	1 1 9
採決	1 2 1
議案第44号	1 2 2
建設経済委員会委員長報告	1 2 2
神田 守隆君の討論	1 2 4
採決	1 2 6

議案第46号	126
文教民生委員会委員長報告	126
採決	127
請願第29号	127
総務委員会委員長報告	128
採決	129
請願第30号、請願第31号	129
文教民生委員会委員長報告	130
採決	131
日程の追加・発議案第13号、発議案第14号	131
説明	132
委員会付託の省略	133
採決	133
継続審査について（請願第28号）	134
議長の報告	134
議案第47号～議案第53号	134
説明	134
委員会付託の省略	136
採決	136
議案第54号	136
説明	137
委員会付託の省略	137
採決	138
議案第55号	138
説明	138
委員会付託の省略	139
採決	139
発議案第12号	139
説明	140

委員会付託の省略	1 4 0
採決	1 4 1
安房南部伝染病隔離病舎組合議会議員の補欠選挙	1 4 1
閉 会	1 4 2
本日の会議に付した事件	1 4 2

第 4 回 館 山 市 議 会 定 例 会 会 議 録

(第 1 号)

1 平成2年12月14日(金曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 26名

1 番 脇田 安保	2 番 永井 龍平
3 番 田沢 勝信	4 番 庄司二三男
5 番 岩村 勝弘	6 番 山崎 雅己
7 番 生稲 陞	8 番 鈴木 勝美
9 番 山口 康雄	10 番 鈴木 忠夫
11 番 神田 守隆	12 番 榎本 春光
13 番 山中金治郎	14 番 小宮 利夫
15 番 横溝 功	16 番 石井 昌治
17 番 石井 謀	18 番 日下 君敏
19 番 川名 正二	20 番 福原 勤
22 番 黒川 平治	23 番 流山源次郎
25 番 渡辺 昭夫	26 番 近藤 好雄
27 番 林 豊	28 番 飯田 義男

1 欠席議員 なし

1 出席説明員

市 長 庄司 厚
収 入 役 渡辺 弘
総 務 部 長 二通 英雄
経 済 部 長 安西 良一
教 育 委 員 会 長 正木 高剛
選 挙 管 理 委 員 会 長 加藤 利
監 査 委 員 鈴木 重司
農 業 委 員 会 長 斎藤 明

助 役 小幡 清之
市長公室長 錦織 茂
民 生 部 長 佐藤 澄雄
水 道 課 長 鈴木 信一
教 育 委 員 会 長 福原 修
選 挙 管 理 委 員 会 長 庄司 徹
監 査 事 務 局 長 熊坂 桂一
農 業 委 員 会 長 岩城 昭

1 出席事務局職員

事務局長 川上 義雄

事務局長補佐 兵藤 恭一

書記 鈴木 哲

書記 鈴木 修一

書記 加藤 浩一

1 議事日程（第1号）

平成2年12月14日午前10時開議

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 会議日程の決定

日程第4 { 議案第41号 館山市選挙公報の発行に関する条例の専決処分の承認について
議案第42号 千葉県競輪組合を千葉県市町村公平委員会の共同設置団体に加えること及び千葉県市町村公平委員会共同設置規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について
議案第43号 館山市福祉基金条例の制定について
議案第44号 南部圏域広域的水道整備計画を定めるにつき同意を求めることについて
議案第45号 平成2年度館山市一般会計補正予算（第2号）
議案第46号 平成2年度館山市老人保健特別会計補正予算（第1号）

開 会 午前10時02分

◎議長（渡辺昭夫君） 本日の出席議員数26名、これより平成2年第4回市議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

市長の紹介

◎議長（渡辺昭夫君） この際、御紹介いたします。

去る11月18日執行の館山市長選挙において当選されました庄司 厚市長を御紹介いたします。

御登壇願います。

(市長庄司 厚君登壇)

◎市長(庄司 厚君) ただいま御紹介をいただきました庄司 厚でございます。

21世紀に向けて、明るく希望に満ちた活力ある館山市の建設に向かって努力してまいります。議員各位のより一層の御理解と御協力をお願いいたします。(拍手)

追悼のことば

◎議長(渡辺昭夫君) この際、御報告いたします。

前館山市長、半澤良一氏には12月9日午前6時45分急逝されました。本市にとりましてはまことに大きな損失であり、痛恨のきわみであります。

半澤前市長は4期16年間にわたって市政を担当され、この間財政の健全化を初めとして、日々当面する行政需要の対応を着実に推進するとともに、長期的展望に立って本市の将来に係る基本的施策を確立され、21世紀への展望を開かれました。16年間の御功績は枚挙にいとまがなく、万人の認めるところであります。強い政治理念に基づいた真摯な市政への取り組みは多くの市民の共感を呼び、議会としても常に深く敬意を表してきたところであります。また、9月議会においての退任表明に際して披瀝された心情は多くの人々に深い感銘を与えました。文字どおり身命を賭して市政を担当されました半澤前市長の理念と情熱は永遠に館山市政の中に生き続けるものと確信いたします。私ども議会といたしましても、市民福祉の向上と市政の発展になお懸命に取り組むことを改めてお誓い申し上げます。ここに謹んで哀悼の誠をささげ、御報告申し上げます。

このことについて市長から発言を求められております。暫時発言を許します。

市長。

(市長庄司 厚君登壇)

◎市長(庄司 厚君) 故半澤市長御逝去を悼み、謹んで哀悼の言葉を申し

述べます。

半澤さんは、そのすぐれた資質と情熱を郷土館山の発展のためにささげ尽くしてくださいました。大正9年この館山に生まれ、東京帝国大学を卒業され、館山市及び千葉県の教育委員及び教育委員長、館山商工会議所会頭などを歴任後、多くの市民の期待を担って昭和49年に第11代市長に就任されました。以来4期16年にわたり市政を担当し、人間尊重を基本理念に、薫り高い文化福祉都市の実現を目指して卓越した識見と指導力を発揮されました。

この間、石油危機を契機とした厳しい経済情勢の中にあって、財政再建、行政改革を精力的に推進され、都市基盤の整備拡充に着手され、教育文化施設の建設を初めとし、生活関連施設整備、社会福祉施設充実等を実現するほか、公共下水道計画など未来に向けて大きな財産を築き上げられました。

一方、地域の振興面におきましても、その基盤となる道路交通網、南房総広域水道企業団による用水供給事業の促進、館山駅周辺市街地整備事業、農水産業の基盤整備などを積極的に推進するとともに、半導体製造企業の誘致実現などに努力されました。とりわけ、海洋性リゾートタウンの建設を目指す中で、房総リゾート地域整備構想によるリゾート開発が進展されようとしているとともに、新たな雇用の場を創出する工業団地の計画も進められようとしております。

以上の施設整備に加えて、教育文化の振興には殊のほか意を用いられ、また国際化、高齢化、高度情報化に加え、市民参加の行政を進めるため、コミュニティ施設を県下でいち早く取り入れるなど、常に時代の変化を先取りした的確な施策を展開されました。

また、対外的にも全国市長会を代表して国会において地方の立場から意見を主張するなど多方面で御活躍を続け、その卓越した識見と行政手腕は高く評価されていました。その功績はまことに偉大であり、さん然と輝けるものです。

半澤さんは去る9月定例市議会において市長退任の意思表示をなされましたが、その中で政治家としての三つの資質を述べられました。それは情熱、責任感、判断力であります。この言葉は政治家のみでなく、市政に携わるす

すべての関係者にとって教訓となる言葉であります。深く敬意を表し、感謝を申し上げる次第でございます。

この半澤さんの識見と豊富な経験を生かし、今後の幅広い御活躍を心から願い、期待していましたが、今回の突然の訃報に接し、まことに痛恨の情にたえない次第でございます。私たちは残された業績を指針とし、今日より一層郷土の発展と地方自治の進展に努力することをお誓い申し上げます。ここに改めて半澤さんの御冥福と御遺族の皆様方の御多幸を心からお祈り申し上げ、追悼の言葉といたします。

ありがとうございました。

黙 禱

◎議長（渡辺昭夫君） この際、故半澤良一氏の霊に謹んで黙禱をささげ、御冥福をお祈りいたしたいと思います。

御起立願います。

黙禱始め。

（起立、黙禱）

◎議長（渡辺昭夫君） 黙禱を終わります。

御着席願います。

議長の報告

◎議長（渡辺昭夫君） この際、御報告いたします。

辻田 実君から平成2年11月8日付をもって、館山市長選挙に立候補するため、議員の辞職願が提出されました。地方自治法第126条ただし書きの規定により、同日付辞職を許可いたしましたので、会議規則第144条第2項の規定により報告いたします。

本定例会議案審議のため、地方自治法第121条の規定による出席要求に対し、お手元に配付のとおり出席報告がありましたので、御了承願います。

なお、市長から地方自治法第180条の規定による専決処分、監査委員から9月乃至11月実施の監査結果が報告されております。それぞれお手元に配付

の印刷書により御了承願います。

議案の配付

◎議長（渡辺昭夫君） ただいま市長から議案並びに説明書の送付がありました。

議案並びに説明書を配付いたさせます。

配付漏れありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

会議録署名議員の指名

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

7番議員生稲 陞君、20番議員福原 勤君、以上両君を指名いたします。

会期の決定

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第2、会期の決定を行います。

本定例会の会期につき、議会運営協議会の意見は本12月14日から12月25日までの12日間ということであります。

お諮りいたします。会期を12日間と定めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、会期は12月14日から12月25日までの12日間と決定いたしました。

会議日程の決定

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第3、会議日程の決定を行います。

お諮りいたします。お手元に配付の会議日程表は本定例会の大体の日取り予定であります。議会運営協議会の意見により作成いたしました。本定例会をおおむねこの会議日程表により運びますとともに、その間議案の追加または議事の都合等によりましてその都度これを改めることにして、大体このようにいたしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(渡辺昭夫君) 御異議なしと認めます。よって、会議日程は決定いたしました。

議案の上程

◎議長(渡辺昭夫君) 日程第4、議案第41号乃至議案第46号の各議案を一括して議題といたします。

市長のあいさつ並びに提案理由の説明

◎議長(渡辺昭夫君) これより市長のあいさつ並びに各議案に対する提案理由の説明を求めます。

庄司市長。

(市長庄司 厚君登壇)

◎市長(庄司 厚君) 本日ここに第4回市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様方におかれましては年末御多忙の折にもかかわらず御出席を賜り、まことにありがとうございます。

提案理由の説明に先立ちまして、市長に就任してから最初の市議会でございますので、一言ごあいさつを申し述べたいと思います。

去る11月18日に行われました市長選挙におきまして、市民の皆様方の温かい御支援により市長に当選させていただきましたことをここに改めて心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

私は、当選が決まって以来市長の職責の重さをひしひしと感じるとともに、市民の皆様方の負託に応えるべく、強い決意とあふれる情熱を持って館山市の進展と市民の皆様方の幸福のために全力を尽くして市長の仕事に邁進しなければならないことを強く心に刻みました。市民の皆様を初め、議員の皆様方の御理解と御協力なしにはできない仕事でございますので、今後の市政運営に当たり、その貴重な経験と知識をお寄せいただきますよう心からお願い申し上げます。

私たちは今回の選挙に際してそれぞれの立場でそれぞれの活動をしたわけ

でございますが、選挙が終わった以上これまでの立場は白紙に戻し、全市民一丸となってよりよい館山市を築き上げるために、お互いに持っている知恵と力を存分に出し合っていただくことをお願い申し上げます。館山をふるさとにしていること、そのふるさとを心から大切に思っているという気持ちがあれば全員が一致団結できることを私は信じております。

南房総地域は、半島性であるがゆえに、生活や産業基盤の面で立ちおくれを余儀なくされてきました。しかしながら、当地域に多大なインパクトを及ぼす東京湾横断道路の建設、上総新研究開発都市構想などのビッグプロジェクトが展開されております。とりわけ本市においては、念願であった東関東自動車道館山線の建設及び南房総広域水道企業団による用水供給事業がそれぞれ平成7年度を目指して促進されている中で、房総リゾート地域整備構想による開発が進められようとしています。南房総が大きく変動しようとしている今日、私は市長に就任いたしました。この開発ポテンシャルを十二分に生かして市政を飛躍的に発展させていくことが現在の私たちに課せられた使命であると考えております。同時に、本格的なリゾート時代を迎え、市民はもちろん、国民全体のニーズがどこにあるのかをきめ細やかに検証することによって、地元産業の発展を図るための発想や政策を獲得することができることを信じています。

一方、21世紀へ向けて国際化、高齢化、高度情報化などの社会経済状況の急速な変化の中で、物から心を重視する価値観の変化や意識の多様化が生じており、地方自治体に求められるニーズもさまざまなものがあり、市政の果たすべき役割は一層大きくなってきております。このため、長期的な展望に立ち、地域の実情を踏まえた的確な施策を推進し、真に豊かな市民生活が享受できるような地域社会の形成に努めてまいりたいと考えております。

以上を念頭に、21世紀へ向けた安房郡市中核都市としてバランスのとれた都市構造を構築するため、道路交通網、館山駅周辺市街地、上下水道等の都市基盤の整備を推進するとともに、自然環境と調和したリゾート開発の推進と地場産業の活性化及び工業団地整備促進による産業の振興に努めてまいります。また、高齢化社会に対応した市民の健康と福祉の向上を図るほか、

国際化や余暇時間の増大などに対応して、将来を担う人材の育成と地域の主体性を確立するための教育、文化、スポーツの振興に努めてまいります。これらの諸施策を重点的に展開することにより、ふるさとを誇りと思えるような、ふるさとで働きたいと思えるような魅力ある館山市の建設に渾身の努力を重ねるとともに、教育者として長年培ってまいりました良識と判断力を生かし、市民と行政のかたい信頼のもとで市民の英知を結集して市民本位の市政に取り組んでまいり所存でございます。今後とも議員の皆様方のより一層の御支援と御協力を賜りますよう心からお願い申し上げます、ごあいさついたします。

続きまして、各議案に対する提案理由について御説明申し上げます。

まず、議案第41号館山市選挙公報の発行に関する条例の専決処分の承認についてでございますが、平成2年11月18日に行われた館山市長選挙に関し、選挙公報を発行するため、同条例について地方自治法第179条第1項の規定により専決処分いたしましたので、議会に報告し、その承認を求めようとするものでございます。

次に、議案第42号千葉県競輪組合を千葉縣市町村公平委員会の共同設置団体に加えること及び千葉縣市町村公平委員会共同設置規約の一部を改正する規約の制定に関する協議についてでございますが、これは千葉県競輪組合から千葉縣市町村公平委員会の共同設置に関する協議依頼があったこと及び東金市外二町清掃組合が平成2年4月1日付をもって東金市外三町清掃組合に名称変更したことにより、千葉縣市町村総合事務組合長から協議のあったものでございます。

次に、議案第43号館山市福祉基金条例の制定についてでございますが、これは普通交付税の基準財政需要額において、本格的な高齢化社会に備え、地域における福祉活動の促進、快適な生活環境の形成等を図るために要する経費として地域振興基金費が措置されたことに伴い、基金を設置しようとするものでございます。

次に、議案第44号南部圏域広域的水道整備計画を定めるにつき同意を求めることについてでございますが、これは夷隅及び安房地域の長期的な安定水

源を確保するとともに、水道の整備普及の促進等を図るため、平成元年7月13日に夷隅郡市及び安房郡市の17市町村長が共同して知事に広域的水道整備計画の策定を要請いたしました。これに基づいて県が南部圏域広域的水道整備計画を定めようとするものでございます。

次に、議案第45号平成2年度館山市一般会計補正予算（第2号）でございますが、歳入歳出予算の補正といたしまして歳入歳出それぞれ1億8,585万6,000円を追加し、総額118億5,724万4,000円としようとするものでございます。

歳出の主な内容といたしましては、民生費では、新たに設置する館山市福祉基金への積立金で6,314万円、これは地方交付税で地域における福祉の促進等のため地域振興基金費として措置された同額を積み立てようとするものでございます。衛生費では、家庭用小型合併処理浄化槽設置事業補助金で、設置基数の増加等に伴いまして534万5,000円、農林水産業費では、富崎漁港へのごみ等の流入防止のための保全工事請負費で400万円、土木費では、市道2057号線外2路線の道路改良、舗装工事請負費で680万円、市道203号線外2路線の地上物件等補償費で618万2,000円、国土利用計画法における監視区域届け出面積の引き下げに伴う届け出件数の増によりまして、不動産鑑定委託料で730万円、都市計画道路工事請負費で1,100万円、これは都市計画道路八幡高井線の道路標識設置等の工事費の増によるものでございます。また、館山駅西口地区土地区画整理事業におきまして物件調査等委託料で400万円、北条海岸排水路改修工事請負費で、入札残によりまして531万8,000円の減、災害復旧費では、市道5027号線外6路線及び普通河川福沢川外7河川の道路、河川災害復旧工事請負費で6,630万円。

以上、歳出の主なものにつきまして御説明申し上げましたが、これらの財源といたしまして、国、県支出金等の特定財源5,375万円、市税及び前年度繰越金等の一般財源1億3,210万6,000円をもって充当しようとするものでございます。

次に、議案第46号平成2年度館山市老人保健特別会計補正予算（第1号）でございますが、歳入歳出それぞれ1,702万7,000円を減額し、総額30億1

、071万 3,000円としようとするものでございます。これは、前年度におきまして支払基金、国及び県並びに一般会計からの交付金及び負担金等により事業を実施し、本年度におきまして医療費等をそれぞれ精算することとなり、これによりまして医療費交付金 1,872万 3,000円、審査支払手数料交付金 6万 6,000円、医療費国庫負担金 208万 2,000円、医療費県負担金19万円をそれぞれ減額、前年度繰越金 403万 4,000円を追加し、一般会計繰出金では 1,702万 7,000円を減額しようとするものでございます。

以上、各議案に対する提案理由について御説明申し上げましたが、この会期中追加議案といたしまして、人権擁護委員候補者の推薦について市議会の同意を得たく、上程をお願いする予定でございます。

よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

◎議長（渡辺昭夫君） 以上であいさつ並びに提案理由の説明を終わります。

延 会 午前10時34分

◎議長（渡辺昭夫君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、本日はこれにて延会することに決しました。

なお、明15日及び16日は議案調査のため休会、次会は12月17日午前10時開会とし、その議事は通告による行政一般質問を行います。

この際申し上げます。一般議案及び補正予算に対する質疑通告の締め切りは12月18日正午でありますので、申し添えます。

◎本日の会議に付した事件

- 1 追悼のことば
- 1 会議録署名議員の指名
- 1 会期の決定

1 会議日程の決定

1 議案第41号乃至議案第46号